

公開シンポジウム

国語教育の将来

— 新学習指導要領を問う

総合司会：日本学術会議連携会員、慶應義塾大学文学部教授 小倉 孝誠

13:00 開会の辞 日本学術会議第一部会員、東京大学名誉教授 松浦 純

13:10 趣旨説明 小倉 孝誠

13:15 発表

新学習指導要領における「文学」概念を問う

日本学術会議連携会員、東京大学人文社会系研究科教授 安藤 宏

古典教育の危機を救う

日本学術会議連携会員、奈良大学文学部教授 三宅 晶子

なぜ、そしてどう古典を学ぶか 日本学術会議第一部会員、東京大学人文社会系研究科教授 渡部 泰明

高校における『国語』という教科の特性とは何か 前灘高等学校教頭 大森 秀治

高等学校新学習指導要領国語科の目指す授業改善 文部科学省初等中等教育局視学官 大滝 一登

15:45 パネリストによる討論 討論司会：日本学術会議連携会員、横浜市立大学名誉教授 山田 俊治

16:30 参加者との質疑応答

17:50 閉会の辞 日本学術会議第一部会員、京都産業大学外国語学部客員教授 吉田 和彦

日時：令和元年 8 月 1 日 木 13:00 ~ 18:00

会場：日本学術会議講堂（東京都港区六本木 7-22-34）

（参加自由、入場無料、事前登録不要）

問い合わせ先：小倉孝誠 ogura@flet.keio.ac.jp

主催：日本学術会議 言語・文学委員会 古典文化と言語分科会

共催：日本学術会議 言語・文学委員会



（アクセス）東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

（出典；日本学術会議ホームページ <http://www.scj.go.jp/ja/other/info.html>）